

常時携帯



エアバッグシステム付レザーーツ 取扱説明書

ご使用の前に必ずお読み下さい。



発売元 株式会社 **アルイス タイチ**
〒578-0901 大阪府東大阪市加納 6-4-9
TEL 072-874-3268 / FAX 072-874-3385
E-MAIL taichi@rs-taichi.co.jp
www.rs-taichi.com

SK-341

目次

T-RAPS (Taichi Racing Airbag System)
(衝撃緩和保護システム付レザーウェア)

取扱説明書

- お買い上げまことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。
- この取扱説明書は、共に必ず常時携帯して下さい。

1	安全に関する注意事項	4
2	概要	6
3	各部名称・形状	8
4	構造	9
	①機能	
	②キーボックス	
	③気室	
	④カートリッジ(CO ₂) ボンベの取り扱い	
	⑤エアバッグシステム構造	
5	使用方法	18
	①伸縮ワイヤーの取り付け及び長さの調節方法	
	②ワンタッチ リリースについて	
	③T-RAPSとオートバイの接続	
	④エアバッグシステムの着脱について	
6	作動時及び、作動後の注意	23

7	作動後の再生	24
	①再生するには	
	②気室の再生作業	
	③キーボックスの再生	
8	保管方法	28
9	お手入れ方法	28
10	使用限度(交換)のめやす	28
11	アフターサービスについて	29
12	保証について	29
	保証書	巻末

1

安全に関する注意事項

本誌(取扱説明書)は、エアバッグ(衝撃緩和保護システム)付レザーウェアを、安全かつ適切にご利用頂くために、必ずお読みください。
また、いつでも読み返していただけるように、大切に保管(オートバイ内等)して下さい。

※本説明書に記載されている製品の外觀・仕様等は、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

本取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

警告



この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 警告 1. T-RAPSはオートバイに乗車時に使用するもので、救命胴衣等、他の目的で使用することは出来ません。
- 警告 2. 使用済みのカートリッジポンペを取り替える際は、購入時と同一サイズ(容量)のカートリッジポンペを使用し、封板に穴が開いていないことを確認して下さい。
- 警告 3. T-RAPSのパーツを分解しないで下さい。
- 注意 4. T-RAPS取扱い時は火気厳禁して下さい。タバコ等が原因で穴があいたり、破れたりした場合は使用出来ません。また、炭酸ガスポンペを内蔵しており、高温下では破裂の危険があるため、使用時・保管時ともに45℃以下となる様にご注意下さい。
- 注意 5. ワンタッチリリースを外さずにオートバイから降りると、引っ張られた伸縮ワイヤーによってオートバイが転倒する危険性があります。必ずオートバイにまたがった状態でワンタッチリリースをはずして降車して下さい。
- 注意 6. T-RAPS着用の前には、各部に破損等がないか自主点検してから着用して下さい。お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。
- 注意 7. T-RAPSが常に完全な機能を維持するため、1シーズンに1回を目安に定期点検のご依頼をお勧めします。
※ご依頼については取扱店またはアールエスタイチまでご相談下さい。

注意



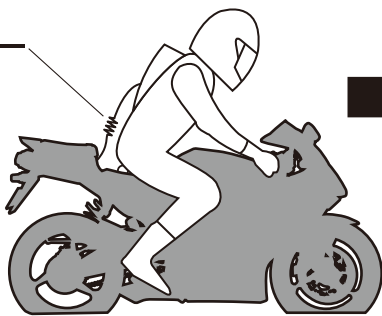
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 注意 8. 保管の際は高温多湿を避け、折りたたんだり荷物の下に置くなご、負荷のかかる保管方法は避け、ハンガーで吊り下げて保管して下さい。又、持ち運び移動する場合も、同様にお取り扱い下さい。高温多湿の場所での保管は避けて下さい。
- 注意 9. T-RAPSをお客様自身で加工することは、正常な作動に支障をきたす場合がありますので絶対におやめ下さい。また、ネームやワッペンを取り付け(場所・方法)については、取扱店またはアールエスタイチまでご相談下さい。
- 注意 10. 本体にT-RAPSを取り付けたままでの洗濯・クリーニングは出来ません。
- 注意 11. 本体から取り外したT-RAPSは、単体での使用は出来ません。
- 注意 12. 内蔵のT-RAPSの着脱は、お客様の責任において行って下さい。誤った取扱いは決してしないで下さい。
- 注意 13. オートバイに取付ける伸縮ワイヤーが正常に取付けてあるか、ご使用前に必ず点検して下さい。装着が不完全な場合は、正常な作動をしない場合があります。
- 注意 14. キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、さび、切れ等)が確認された場合には、すみやかに部品の交換をして下さい。

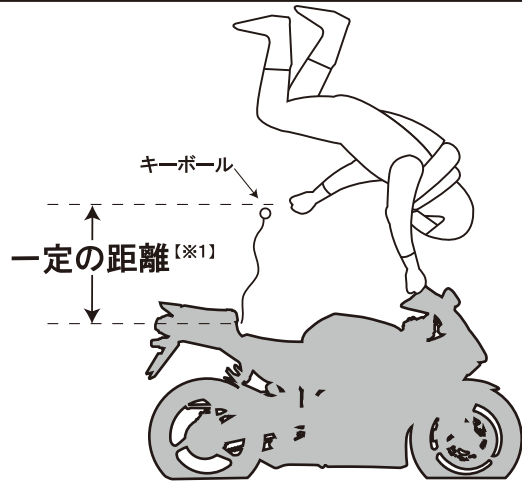
2

概要

伸縮ワイヤー



アクシデント



- T-RAPSは、オートバイ乗車の際に着用し、転倒、追突などによってライダーがオートバイから一定の距離【※1】離れた瞬間にキーボールが抜け、T-RAPS本体に組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジポンペより炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっています。その膨張した気室が首を固定し、頭椎への衝撃を緩和する仕組みとなっています。
- T-RAPSは、頭椎への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られた製品であり、『これを着ていれば必ず安全である、又、安全を保証する』というものではありません。
- キーボールは、簡単には抜けない構造(4-2. キーボックス(P.10)参照)になっていますが、スタンディングなどワイヤーが伸びきった状態になると抜けるおそれがあります。

【※1】一定の距離とは、T-RAPSを着用して、セットした状態でのキーボックスから、オートバイに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害【※2】もなく伸びきった状態までの距離をいう。前後・左右を問わず同じである。

【※2】障害とは、セットしたキーボックスと伸縮ワイヤーの途中で、荷物・身体・車両・外部の突起物などが伸縮ワイヤーに強く触れたりからんだ場合の事をいう。これらの場合は、一定の距離を離れなくても、伸縮ワイヤーを引っ張る作用となり、作動する場合があります。

○衝突・転倒し、オートバイと着用しているT-RAPSが一定の距離を離れない場合(スリップダウン等)には、エアバッグ(衝撃緩和保護システム)は作動しません。また、膨張した気室以外の箇所には、衝撃緩和の効力はありません。

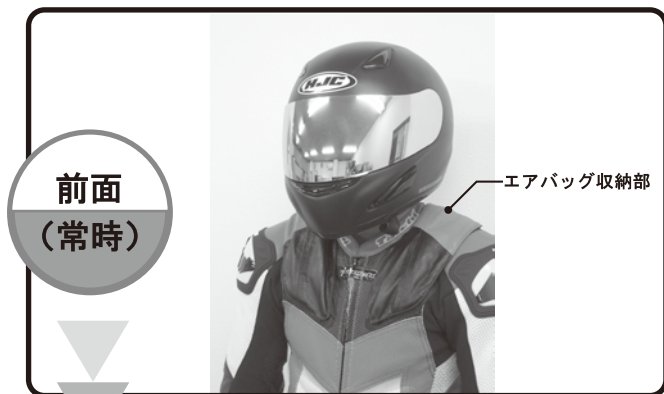
○T-RAPSを着用した状態でオートバイから離れる際に、ワンタッチリリースを取り外さずに一定の距離以上離れ、約45kgの力(4-2. キーボックス(P.10)参照)がかかった場合も、キーボールが抜けて作動してしまいますので、くれぐれもご注意下さい。

誤作動防止のため、ワンタッチリリースバックルの着脱は、オートバイにまたがった状態で行って下さい。

○一度作動したカートリッジポンペは再使用できません。
必ず新しいものとお取り替え下さい。(NXPP001 T-RAPS交換用ポンペ 30cc)

3

各部名称・形状



※デザイン、形状等は写真と異なる場合があります。

8

4

構造

4-1 機能

1. 一定の距離離れた瞬間に作動して炭酸ガスを送り込みますので、最大限に膨らむまでも、衝撃を緩和する効果があります。
2. エアバッグ膨張後は首の周りを固定し、ヘルメット(頭部)の動きを抑制することにより、転倒時に頭部が振られたり衝撃を受けて起こる、頭部や頸椎への衝撃を軽減します。
3. 最大に膨らんだ後は、ガスが簡単に抜けなくなっています。その状態でユニットごと取り外せるようになっておりますので、レース等においてもすぐに再スタートが可能です。
4. 作動の有無に限らず、表地および気室に傷が付いたり破損した場合は、エアバッグが正常に作動しない場合があるため、すぐにご使用を中止し、メンテナンスチェック【※3】をご依頼下さい。なお、症状によって再利用出来ない場合があります。
5. 事故などで作動した後で再使用される場合は、必ずメンテナンスチェックをご依頼いただき、正常に作動することをご確認の上で使用して下さい。

【※3】メンテナンスチェック

T-RAPSの各気室にエアを注入し、破損などによるエア漏れや、その他の部品等に異常が無いかを点検します。また、転倒などによる作動が無かった場合でもT-RAPSの機能を維持するため、1シーズンを目安にメンテナンスチェックをご依頼下さい。


■ ご依頼については最寄りのT-RAPS取扱店かアールエスタイチまでご相談下さい。

9

4

4-2 キーボックス

この装置は、通常約45kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込んである圧縮バネが針と連動し、カートリッジポンプの封板に穴をあけて気室にガスを送り作動させます。着用時、前方のどの方向から引っ張ってもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

注意  1. キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい。



4-3 気室

1. 気室の素材には筒状のウレタンフィルムを使用し、より強度をもたせ、作動時の衝撃を出来るだけ多く吸収するようにしてあります。
 2. 通常、作動した瞬間の気室の圧力は、最大膨張時30kpa(0.3kg/cm²)程です。
 3. ガスはキーボックスからウレタンホースにより、各気室に送り込まれます。
- T-RAPSは、衝撃によるダメージを少しでも和らげる為に作られている物であり、接触物の形状及び、衝撃の度合により、破損等も考えられます。

10

11

4-4 カートリッジ(CO₂)ポンベの取扱い

- カートリッジポンベ内には炭酸ガス(CO₂)が充填されています。
- キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジポンベの封板に穴をあけて、ポンベ内のガスを各気室へ送り込みます。
- カートリッジポンベのキーボックスへのねじこみが不十分な場合、針が封板に届かずエアバッグが膨張しなかったり、膨張開始に数秒の遅れが生じる等、正常に作動しない場合があります。
- 一度作動(使用)したカートリッジポンベは再使用できません。必ず新しいものとお取り替え下さい。
(NXPO01 T-RAPS交換用ポンベ 30cc)

下記の注意事項をお守り下さい。破裂の危険性があります。

- 警告 ⚠ 1. 45℃以下で使用及び、保管して下さい。(高温となる車中での保管はしないで下さい。)
- 警告 ⚠ 2. カートリッジポンベに強い衝撃を与えないで下さい。
- 警告 ⚠ 3. カートリッジポンベを加熱しないで下さい。
- 警告 ⚠ 4. カートリッジポンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。
- 警告 ⚠ 5. 使用済のカートリッジポンベはガスが残っていない事を確認してから廃棄して下さい。
- 警告 ⚠ 6. カートリッジポンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はしないで下さい。
- 警告 ⚠ 7. 必ず購入時と同一サイズ(容量)のカートリッジポンベをご使用下さい。
- 注意 ⚠ 8. 本製品以外での使用はしないで下さい。
- 注意 ⚠ 9. 一度セットしたカートリッジポンベを回したり、はずしたりしないで下さい。
- 注意 ⚠ 10. 小児の手の届かない場所に保管して下さい。

4-5 エアバッグシステム構造

写真 A

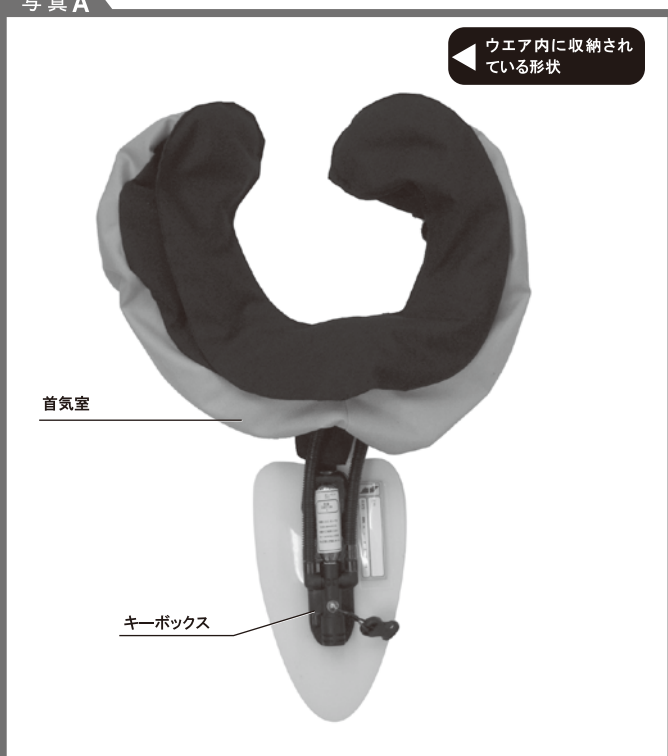


写真 B

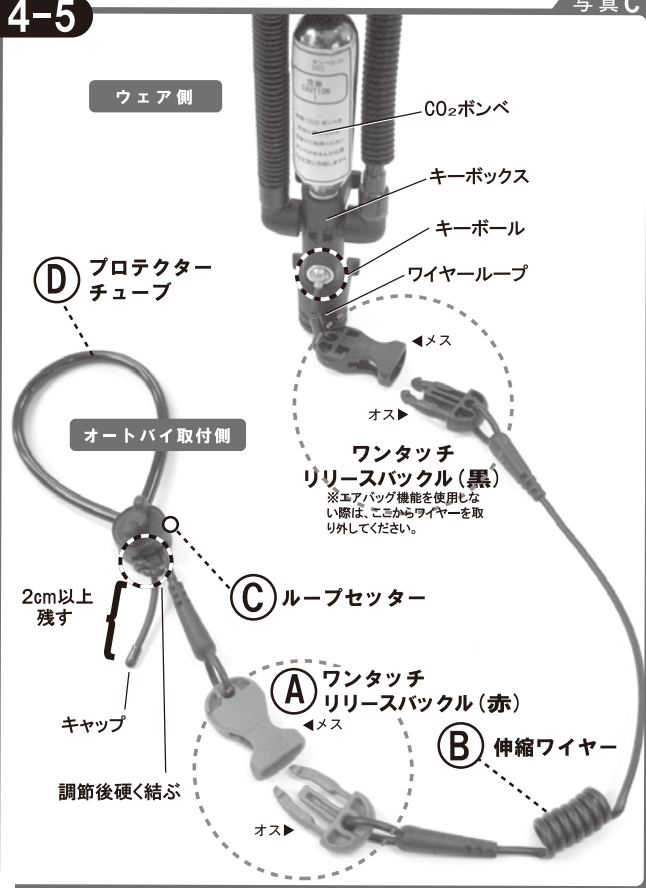
▼ エアバッグシステムが作動した状態
作動時、首気室は瞬時に膨張して起き上がります。

前

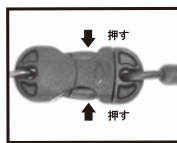


後





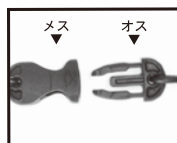
A ワンタッチリリースバックル (赤・黒)



車体へ取り付け付けたループセッター側(赤)と、ウェア側(黒)を伸縮ワイヤーで接続して使用します。接続の解除はワンタッチリリースバックルの両側を指で押すと簡単に外れる仕組みです(左図)。

注意 ⚠ 1. 乗降時・走行中にワンタッチリリースバックルがオートバイ各部に接触し、傷つく場合があります。
※上記の状況が予想される場合、シール等による保護をお勧めします。

注意 ⚠ 2. 接続する際は、『カチッ』と挿入音が出るのを確認して下さい。挿入音もなく不完全に挿入している場合は、はずれることがあります。



ワンタッチリリースの内部に、砂・ゴミ等が入り込み、挿入時に違和感がある時は、オス部・メス部のゴミ等をよく取除いて下さい。

注意 ⚠ 3. オス部とメス部の接続がうまく出来ない場合や違和感がある場合は、新しいものとお取り替え下さい。無理に行なうと、はずせなくなる事や、自然にはずれる場合があります。

注意 ⚠ 4. 降車時に接続を解除したオス部・ワイヤーが、加熱したエンジン部分やマフラーに触れると、変形や破損の恐れがあります。

B 伸縮ワイヤー

ウレタン樹脂の外装(黒)の中にケブラー糸(黄色)が入っています。

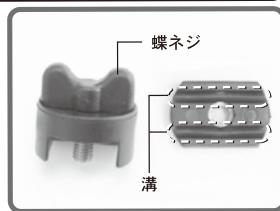
注意 ⚠ 1. 外装にこすれ傷・こげあと・めくれ・セビ等を発見した場合、ケブラー糸が見えた場合は新しいものとお取り替え下さい。そのまま使用しますと伸縮ワイヤーの切断や、ループセッターからの抜け・はずれの原因となります。伸縮ワイヤーのお取り換えは、お客様の責任において適切に行なって下さい。

C ループセッター

伸縮ワイヤーをオートバイに取り付け、その長さを調節したあとで固定するために使用します。

注意 ⚠ 1. 乗車の際に、蝶ネジが強く締まっているかを確認して下さい。

注意 ⚠ 2. 長さ調節をする場合は、伸縮ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、強く蝶ネジを締めて下さい。ループセッターより出た伸縮ワイヤーは結び目より2cm以上の余裕をもってカットし、固く結んで先端にキャップをはめて下さい。



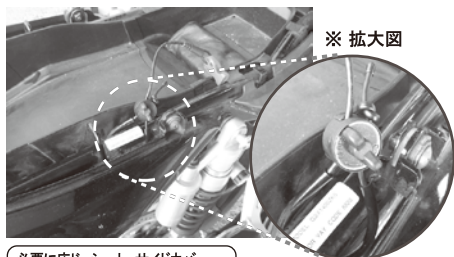
D プロテクターチューブ

伸縮ワイヤーを通すことで、伸縮ワイヤー・巻きつけ箇所を保護(磨耗・傷)するために使用します。巻きつけ箇所の形状に応じて適切な長さに切断してご使用下さい。

▶▶ 5 使用方法

5-1 伸縮ワイヤーの取り付けおよび長さの調節方法

●伸縮ワイヤーの取付け



必要に応じ、シート、サイドカバーを取りはずして下さい。

1. 本体側の伸縮ワイヤー取り出し口が背面に位置するため、ライダーの着座位置より後方へ、シートレールなどを利用して取り付けます。

<取付け例>



レース専用車両など、一部車種によっては穴受け等の加工を要する場合があります。

※カウルに穴を開けてワイヤーを通す場合、付属のゴムプッシュをカウルの穴に取り付けてください。転倒の際、カウルとワイヤーの破損を防ぎます。

●伸縮ワイヤーの長さの調節

- 伸縮ワイヤーの取り付け後は、正常に作動させるために必ず長さの調整を行って下さい。
- 伸縮ワイヤーの長さは、ライダーの体格やライディングスタイル、および車種やワイヤーの取り付け位置などによって異なります。長さが適切でない場合、作動が遅れたり不意に作動する恐れがあるため、実際のライディングを想定して最適な長さに調整して下さい。
- 伸縮ワイヤーの調整は、車体に仮止めたあと、前傾姿勢や前後左右の体重移動など、実際のライディングを想定した動作を行い、ワイヤーのたるみや突っ張りといった違和感が無い長さとループセッターをしっかりと締め込んで下さい。



- ループセッターを締めつけた後は伸縮ワイヤーを強く引っ張り、しっかりと固定できていることを確認して下さい。
- 調整完了後、ループセッターから余った伸縮ワイヤーは、ループセッターより出た所で固く結び、結び目より2cm以上の余裕をもってカットして下さい(P.16 写真C・C)。

注意 ⚠ 1. 伸縮ワイヤーのオートバイへの取付け先は、運転動作の妨げになるような所をさけて下さい。

注意 ⚠ 2. 伸縮ワイヤーのオートバイへの取付け先は、バイクのパーツ等を損傷したり、伸縮ワイヤーに損傷が生じるおそれのある所をさけて取り付けして下さい。

注意 ⚠ 3. 伸縮ワイヤーが引っ張られた際に取付け箇所よりはずれたり、抜けたりするおそれのある所へは取付けしないで下さい。

注意 ⚠ 4. 伸縮ワイヤーをエンジン、マフラー、又、その付近の高温となる場所(60℃以上)への取付けはしないで下さい。

注意 ⚠ 5. 降車時に放置した伸縮ワイヤーが、高温部へ接触すると予想される場所への取付けはしないで下さい。

注意 ⚠ 6. 伸縮ワイヤーの長さの調節及びループセッターの固定については、お客様の責任において適切に行なって下さい。

5

5-2 ワンタッチリリースバックルについて

ワンタッチリリースバックル(P.16 ~ 17 参照)は、オートバイに接続した伸縮ワイヤーとエアバッグシステム付きウェアのキーボックス部(キーホール)との連結を容易にします。

5-3 T-RAPSとオートバイの接続

- オートバイにまたがってから、ワンタッチリリースバックル(赤)を使用して車体に接続してください。
- オートバイから離れる際は、ワンタッチリリースバックル(赤)を外してから降りてください。



5-4 エアバッグシステムの着脱について

<取り外し方 ~メンテナンスの場合~>

1. 伸縮ワイヤーのワンタッチリリースバックル(黒)を外します。
2. 首気室を収納している首廻りのカバーのボタンを外します。
3. 首気室を固定している両肩のベルクロをはがします。
4. ネックサポート上部から、ユニットを引き抜いてください。

注意 **△**1. 大きな力で無理矢理エアバッグを引っ張らないで下さい。破損の原因となります。

<取り外し方 ~レースで再スタートする場合~>

● レース等で転倒後、再スタートする場合には下記の方法で取り外してください。

1. 首気室前方をつかみ後ろ方向へ起こしてください。両肩のベルクロが自然に剥がれます。(写真A)もし剥がれにくい場合は、ベルクロ部にあるベルトを引っ張って剥がしてください。
2. 上方向に引っ張れば、ユニットごと外れます。(写真B)
3. オートバイには伸縮ワイヤーが付いたままですので、ワンタッチリリースバックル(赤)から取り外してから再スタートしてください。



注意 **△**1. オートバイに伸縮ワイヤーが付いたまま再スタートすると、ワイヤーがチェーンやホイールなどに巻き込まれるおそれがあります。

20

21

5-4 エアバッグシステムの着脱について

<取り付け方>

1. 本体の背中側を上にして、床など平らな作業しやすい場所に広げて下さい。
2. 伸縮ワイヤーをネックサポート下部のワイヤー取り出し口に挿入し、ネックサポート上部の開口部まで通します。
3. エアバッグユニットのワンタッチリリースバックル(黒)に、ネックサポート上部へ通したワイヤーを接続します。
4. 伸縮ワイヤーを引っ張りながら、ユニットをネックサポート内部へ挿入します。完全に収まったら、ワンタッチリリースバックル(黒)がネックサポートの外に出るまで引っ張ります。
5. 首気室を両肩のベルクロで取り付けます。
6. 首気室を畳みながら、カバーのボタンを留めてください。
7. 全てのボタンの取り付けが終われば、カバーの上から形状を整えてください。

注意 **△**1. 首気室はロール状に畳まず、Z状に畳んでください。ロール状に畳むと、正常に作動しない場合があります。

エアバッグシステムの着脱は、お客様の責任において行って下さい。
決して誤った取り扱いをしないで下さい。ウェアのクリーニング等でエアバッグシステムの着脱が必要な場合は、慎重に作業を行って下さい。
※エアバッグシステムの装着の不備によって正常に作動しなかったり、破損する場合があります。

6 作動時、及び作動後の注意

T-RAPSが作動し膨らんだ状態になった場合、以下の点にご注意下さい。

1. T-RAPSは、特に首を保護するため、膨らんだ際には首回りに圧力がかかり、着用しているヘルメットのあごひもがとれにくくなったりする場合があります。その際はエアバッグを取り外すか、緊急の場合には首気室に穴を開けてください。
2. 事故等により現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱衣して下さい。
3. 膨らんだ気室が大きな衝撃により破損した場合は、気室全部のガスがすぐに抜けてしまいます。

注意 **△**4. 走行中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は慌てず、すみやかに安全な場所へオートバイを停止し、エアバッグユニットを外してください。そのまま走行しますと、膨らんだ気室等によって大きな風圧を受け、不安定な状態となり大変危険です。

注意 **△**5. 作動の際、外傷の出来たエアバッグ付レザーウェアは、メンテナンスチェック※の上、カートリッジボンベを新しいものに取り替えて再びご利用下さい。著しい外傷及び、部品破損の場合は、再生出来ない場合があります。

※メンテナンスチェックについては、(P.9 4-1 機能)をご参照下さい。

注意 **△**6. ツーリングなどで一度作動したT-RAPSを、やむを得ずお客様が再生させる場合は、以下の点にご注意下さい。

- ウェアや気室、伸縮ワイヤーに外傷(キズ・穴)等がないか確認する。
- 作動した時に、正常(外傷、気室の破裂により、すぐにガスが抜けなかったか)であったか確認する。
- 予備のカートリッジボンベは、適合した大きさの未使用のカートリッジボンベである事を確認する。

以上の問題がないことをご確認の上、お客様の責任において再生して下さい。異常がある場合は、正常な作動をしない事があります。

※詳しい再生方法は、(P.24 7 作動後の再生)をご参照下さい。

22

23

7

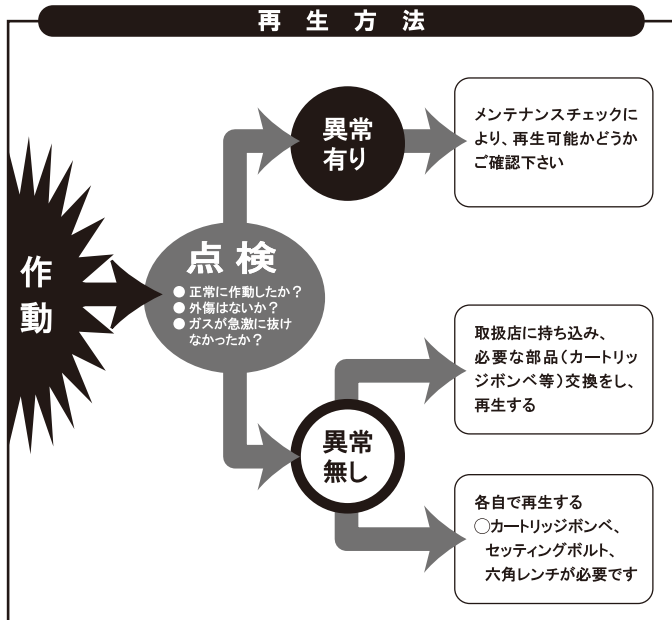
作動後の再生

7-1 再生するには

一度作動したエアバッグは必ずメンテナンスチェック(P.9 参照)を実施し、正常な作動が可能であることを確認のうえで再生して下さい(メンテナンスチェックで異常が見られたT-RAPSの再生はできません)。

※ここに紹介する手順によってお客様自身による再生は可能ですが、手順を誤りますと正常に作動しない可能性がありますので、作業には細心の注意を払いながら行って下さい。

再生方法



※付属品として六角レンチ及び、セッティングボルトが付いています。

7-2 気室の再生作業

1. エアバッグユニットをウェア本体から取りはずします。

写真1



2. 使用済みのカートリッジポンベを左に回してキーボックスからカートリッジポンベをはずします。
<写真1>

写真2



3. 気室からガスを抜きます。突起物などのない平坦な所で、各気室部分を全体に押すようにしてゆっくりガスを抜いて下さい。
<写真2>

※この作業が完全に行なわれないと、各気室部分の収納がうまく出来ません。ほぼ完全にガスが抜けるまで、根気よく行って下さい。

※内部部品に損傷を与える事がありますので、丸める・たたむ・絞る等は決してしないで下さい。

7

7-3 キーボックスの再生作業

写真3



写真4



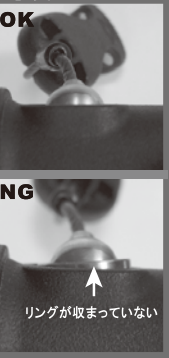
4. キーボックスの底部にある穴にセッティングボルト<写真A①>を入れ、手で締めていきます。
<写真3>
きつくなってきたら、六角レンチ<写真A②>を使い、キーボール・リングが入っていた穴がキーボックスの穴の中心に来るようにセットします。<写真4>

5. キーボール・リングをキーボックスの穴に深く押し込み、指で押さえたまま六角レンチでセッティングボルトを抜きます。<写真5>
この時、横から見てリングが収まっていることを確認してください。
<写真6>

写真5

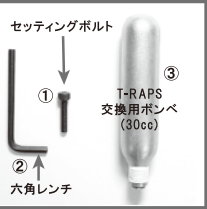


写真6



注意 ⚠ セッティングボルトを抜き忘れると作動しません。

写真A



6. 未使用のT-RAPS交換用ポンベ(30cc)を右回転させながら、キーボックスの取り付けねじ部に根元までしっかりとねじ込んでセットします。<写真7>

写真7



7. エアバッグユニットをウェアに取り付けてください。

▶▶ 8 保管方法

T-RAPSを永く安心してご使用いただくために、次のような場所や条件下では保管しないで下さい。

1. 高温になる所(直射日光の当たる所、車中、ストーブの近くなど)
2. 湿気の多い場所
3. 他の物の下積
4. ネズミなどの害のある場所
5. 折りたたんだり、丸めたりしての保管(ハンガー掛けにして下さい)

▶▶ 9 お手入れ方法(クリーニング)

エアバッグシステムが装着されたまま、ウェア本体のリフレッシュ(クリーニング)は出来ません。エアバッグシステムを取りはずし、ウェア本体のみを洗濯表示に従ってクリーニングして下さい。

※エアバッグシステムを決して洗濯・クリーニングしないで下さい。

▶▶ 10 使用限度(交換)のめやす

T-RAPSを作動させることなく正常に使用された場合でも、以下の様な症状が発生した場合はメンテナンスチェックを行い、必要に応じて部品やユニットの交換等を実施して下さい。

1. 表地(皮革・布地)及び、気室(布地)の部分がこすれたり、ほつれたりしてきた場合。又、それによって、内部気室(白色のウレタンフィルム)が見えてきたりした場合。
2. キーボックス部分やカートリッジポンベにヒビ、サビが発生してきた場合。
3. 伸縮ワイヤー、ワイヤーループが擦れなどによって、ほつれが出てきた場合。
4. 各素材が著しく変色、変化が生じてきた場合。

28

▶▶ 11 アフターサービスについて

＜補修・修理を依頼される時＞

お買い上げの取扱店まで保証書とともに、商品をご持参下さい。

補修・修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

取扱店にご依頼にならない場合には、直接弊社へお問い合わせ下さい。

【アールエススタイチお問合せ窓口 TEL 0120-22-3403 (9:30~17:30 土・日・祝を除く)】

▶▶ 12 保証について

本製品はお客様が事故等のトラブルの際、安全を保障するものではありません。本製品の不具合に起因する付随的損害(本製品の使用誤り、ご使用中に生じた不具合または本製品の使用によって受けられた損害や得べかりし利益の損失等)については一切その責任を負いません。

1. 巻末が保証書です。切り離してお使い下さい。
2. 必ず、『取扱店名』『購入日』等の記入をお確かめの上、保証内容を良くお読み頂き、大切に保管して下さい。
3. 『取扱店名』『購入日』の記入がない場合、また、虚偽の記入の場合、保証いたしかねます。

29

memo

エアバッグ(衝撃緩和保護システム)付レザーウェア保証書

補修・修理には、この保証書の提示が必要となります。大切に保管して下さい。

1. <保証の発効>

この保証書は、お買い上げの販売店が、保証登録書に必要事項を記入、捺印する事により有効となります。

2. <保証内容>

○弊社が製造したT-RAPSを構成する各 부품の材料、又は、製造上の不具合による補修・修理が発生した場合は、無償でその部品の交換、又は、補修・修理致します。その際、取りはずし・交換した部品は、弊社の所有となります。

○使用後のウェア(布地、皮革、ケブラー)及び、内部気室(ウレタンフィルム)の破損については、保証の対象になりません。

3. <保証期間>

○お買い上げ日より1ヶ年

○通販等、配達によってお買い上げの場合、発送日より1日後からの1ヶ年となります。

4. <保証できない事項>

1). 次に示す事項は、保証の対象外となります。

- ① 使用上の誤り及び、不当な修理や改造による故障及び、損傷。
- ② 取扱説明書などに示す取扱方法と異なる使用に起因する不具合。
- ③ 保守、整備の不備、又は、間違いに起因する不具合。
- ④ 弊社以外の者(販売店、販売会社含む)が取り付けした指定外部品、及びそれらに起因する不具合。
- ⑤ 指定部品であっても、異なった取り付け、操作に起因する不具合。
- ⑥ 指定されたカートリッジポンベ以外の物を使用した場合。
- ⑦ 地震、台風、落雷、水害などの天災、事故、又は、火災に起因する不具合。
- ⑧ 経時変化、あるいは、使用損傷により発生する不具合(各パーツの色あせ、ほつれ、サビ、襟の型くずれなど)。
- ⑨ 機能に影響のない感覚的現象(しわ、色あせ等)。
- ⑩ 海外へ持ち出された場合(その時点で保証を打ち切らせていただきます)。

2). 次に示す費用は保証の対象外となります。

- ① メンテナンスチェック及び、整備にかかる費用
- ② 使用によって消耗した部品
- ③ 使用及び、再使用出来なかった事による不具合、及び損失など。
(電話代、レンタカー代、休業補償、営業損失など)
- ④ 指定販売店以外での修理費用

5. <保証の適用の範囲>

この保証書は、日本国内で販売し、使用される商品のみ適用します。よって、海外へ持ち出す場合は、その時点で保証の対象外となります。

※予告なく製品の外観・仕様、使用方法を変更することがあります。

取扱店名 必ずご記入下さい。記入のない場合は、保証が受けられないことがあります。

ご購入日 年 日

ご購入者 必ずご記入下さい。記入のない場合は、保証が受けられないことがあります。

名

ご住所

T E L

記録MEMO

 令和 年 月 日

 令和 年 月 日

 令和 年 月 日



株式会社 **アールエス タイチ**
〒578-0901 大阪府東大阪市加納 6-4-9
TEL 072-874-3268 / FAX 072-874-3385
E-MAIL taichi@rs-taichi.co.jp www.rs-taichi.com